

CASBEEさいたま2016年版
さいたま市立中等教育学校(仮称)整備事業 校舎

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版
■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.1.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.7
Q1 室内環境							0.40		-	3.6
1 音環境						2.9	0.15		-	2.9
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40		-	
1.2 遮音						2.8	0.40		-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能						1.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				普通教室はフローリングを直張することで、衝撃音を軽減した		5.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	0.20		-	
1.3 吸音						3.0	0.20		-	
2 温熱環境						3.4	0.35		-	3.4
2.1 室温制御						3.0	0.50		-	
1 室温						3.0	0.60		-	
2 外皮性能						3.0	0.40		-	
3 ゾーン別制御性									-	
2.2 湿度制御				加湿器を設置して、冬季湿度45%を目標に制御している。		5.0	0.20		-	
2.3 空調方式						3.0	0.30		-	
3 光・視環境						3.8	0.25		-	3.8
3.1 昼光利用						4.2	0.30		-	
1 昼光率		教室3.96%				5.0	0.60		-	
2 方位別開口									-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30		-	
1 昼光制御		カーテン、庇による制御				4.0	1.00		-	
3.3 照度		卓上・黒板面で照度を500LXを確保している。				4.0	0.15		-	
3.4 照明制御						3.0	0.25		-	
4 空気質環境						4.4	0.25		-	4.4
4.1 発生源対策						5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質		建築材料について全面的にF☆☆☆☆を使用				5.0	1.00		-	
4.2 換気						3.3	0.30		-	
1 換気量						3.0	0.33		-	
2 自然換気性能		教室1/15以上				4.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33		-	
4.3 運用管理						4.5	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		CO ₂ センサーにて全熱交換器制御を行っている。				4.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		建物全体で禁煙				5.0	0.50		-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.6
1 機能性						3.7	0.40		-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性									-	
2 高度情報通信設備対応									-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性						4.5	0.30		-	
1 広さ感・景観		教室の天井高さ2.9m				5.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース									-	
3 内装計画		教室の床・壁の一部に木材を使用しぬくもりのある空間とする				4.0	0.50		-	
1.3 維持管理						4.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある外装材、清掃のしやすい床材の選定				4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		廃棄物倉庫の設置、トイレの清掃流しの設置				4.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30		-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		65年				4.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						3.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		20年 石こうボード下地塗装				5.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						4.2	0.20		-	
1 空調・換気設備		個別空調(ビルマル+空調換気扇)としている。				5.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備		節水機器、雨水利用、飲料水造水装置、受水槽緊急遮断弁と水栓の				5.0	0.20		-	
3 電気設備						3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		①情報光を2回線、電話回線網引き込みとしています。				5.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高3.75m	4.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	・O. 168	4.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり		教室 床2900N/m ²	4.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	配管部分は全面床下ピットを設置	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	3.9
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		建物高さを15m以下に抑え、壁面緑化、外構緑化することによる配慮	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮		中庭の設置や防犯のためのフェンス等、アメニティに配慮	3.5	0.30		-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		道路から建物内貫通通路を通り、中庭までの連続した空間を配慮	3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		空調屋外機や厨房排気を地上11.55mの屋上に設置	4.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.58	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10		-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.67	4.3	0.50		-	4.3
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.8
1 水資源保護			4.0	0.20		-	4.0
1.1 節水		節水機器及び擬音装置の設置	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			4.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水貯留槽の設置	4.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	トイレ洗浄水、灌漑に利用。	4.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60		-	4.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		高炉セメント(基礎コンクリート)	5.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		フローリング(床材)、ビニル系床材(床材)、合板(壁材)	5.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と軽量鉄骨間仕切壁・天井が分別可能	4.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.2
1 地球温暖化への配慮		敷地内緑化、屋上緑化、壁面緑化	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	行政指導は無いが雨水抑制施設を設置している。	4.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場の設置	5.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.60		-	
2	砂塵の抑制		3.0	0.20		-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	